

平成26年度

「全国体力・運動能力、運動習慣等に関する調査」

大阪市立新巽中学校

平成26年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」 における新巽中学校の結果の分析と今後の取組について

文部科学省による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成26年4月から7月末までの期間に、2年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

1 調査の目的

- (1) 子供の体力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公私立学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の中学校第2学年、中等教育学校第2学年、特別支援学校中学部第2学年の原則として全生徒
- ・ 新巽中学校では、2年生 86名

3 調査内容

- (1) 児童生徒に対する調査
 - ア 実技に関する調査（以下、「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）
中学校調査では、以下の種目を実施する。
〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ（※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択）
 - イ 質問紙調査
運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「児童・生徒質問紙調査」という。）を実施する。

平成26年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大阪市立 新 巽 中学校

生徒数

86

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	28.20	23.70	42.52	43.75		72.23	8.28	168.16	19.73	35.14
大阪市	29.42	27.25	40.64	50.72	406.21	83.32	8.13	188.65	20.44	40.47
全国	29.00	27.45	42.92	51.31	392.89	85.29	8.03	193.43	20.86	41.74
女子	22.63	21.31	40.18	43.00		47.18	9.26	156.36	13.46	43.38
大阪市	23.98	22.69	43.59	45.42	302.75	56.63	9.01	163.40	12.82	47.51
全国	23.70	23.07	45.23	45.63	290.64	57.77	8.87	166.53	12.88	48.66

結果の概要

本校ではシャトルランを選択して実施をした。

【男子】

- ・運動の苦手な生徒の比率が例年より多いため、各運動が大阪市・全国の平均より低下している。
- ・体力合計点では大阪市より約5ポイント、全国より約7ポイント下回った。

【女子】

- ・ハンドボール投げ以外の種目では大阪市、全国の平均を下回った。
- ・体力合計ポイント調査が始まって以来初めて大阪市平均、全国平均を下回った。体力合計点では大阪市平均より約4ポイント、全国平均より約5ポイント下回った。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体育委員を中心とした授業での取り組みが、徐々にではあるが成果が出てきた。自主的に意欲的に取り組む生徒が増えてきた。

【男子】

- ・ランニング・体操・補強運動等を引き続き実施していき基礎体力を高めていきたい。
- ・自校における昨年度比較では、長座体前屈3.9ポイント、50m走で0.1ポイント上回った。
- ・立ち幅とび15.5ポイント、シャトルラン6.2ポイント下回った。

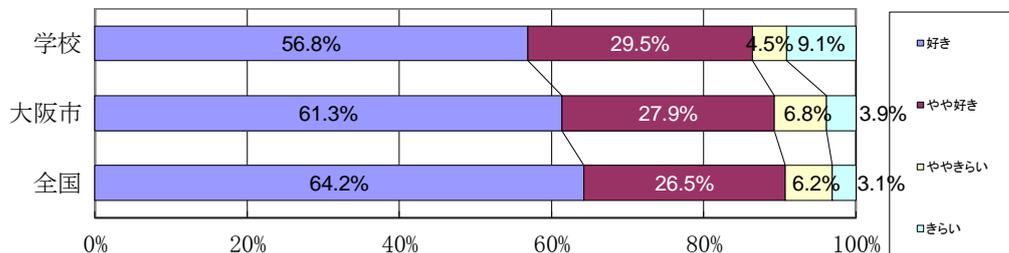
【女子】

- ・準備運動(補強運動・柔軟)を念入りに行っている。今後も続けていく。
- ・自校の昨年度比較では全ての種目において下回った。また、体力合計点で約6.6ポイント下回った。

運動やスポーツについて（男子）

質問 番号	質問事項
----------	------

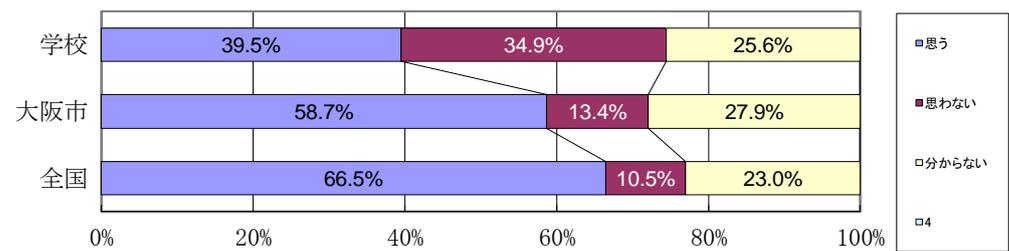
1
運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか



2
運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは得意ですか



3
中学を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間をもちたいと思いますか。



成果と課題

- 「運動やスポーツをすることは好きですか」は、大阪市、全国を下回ったが、「運動やスポーツをすることは得意ですか」では、大阪市を上回り、全国とほぼ同じ結果が出た。
- 「中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間をもちたいと思いますか」では、大阪市をわずかに上回ったが全国よりほんの僅か下回った。

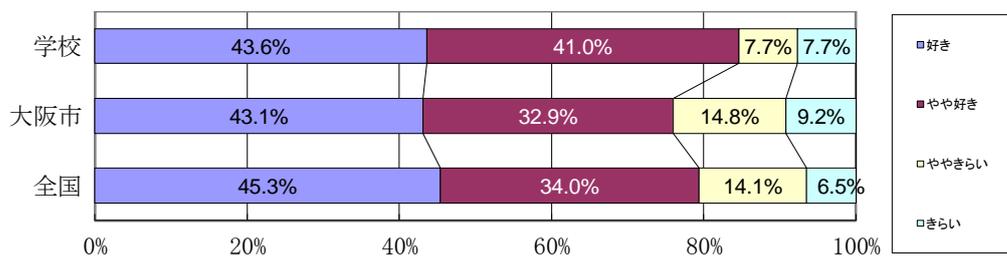
今後の取組

- 保健体育の授業や部活動、様々な体育的行事などを通じて、生徒一人一人が活躍できるよう工夫し、苦手意識の克服を図る。
- 生涯スポーツの大切さを授業を通して啓発していく。

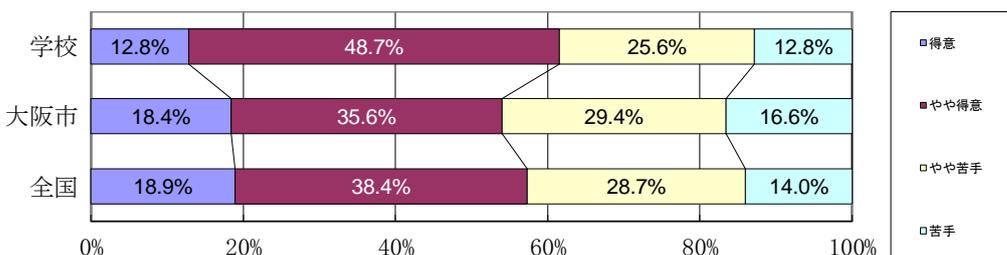
運動やスポーツについて（女子）

質問 番号	質問事項
----------	------

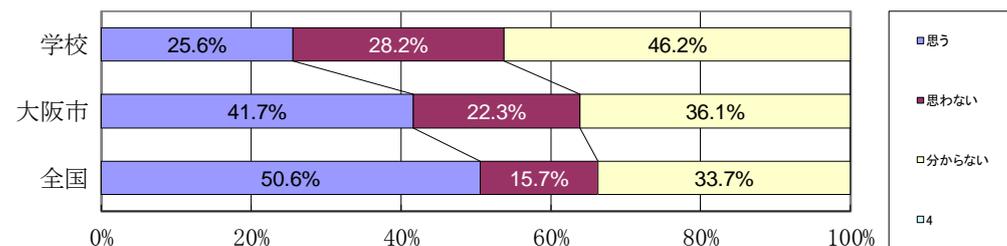
1
運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



2
運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは得意ですか



3
中学を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間をもちたいと思いますか。



成果と課題

- 「運動やスポーツをすることは好きですか」、「運動やスポーツをすることは得意ですか」の二つの質問に対して、「好き」「やや好き」を合わせるとそれぞれ大阪市、全国上回っているが、「中学を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間をもちたいと思いますか」では、「思う」が大阪市より約16ポイント、全国より25ポイント下回った。今後この理由を知ることが必要だと考えている。

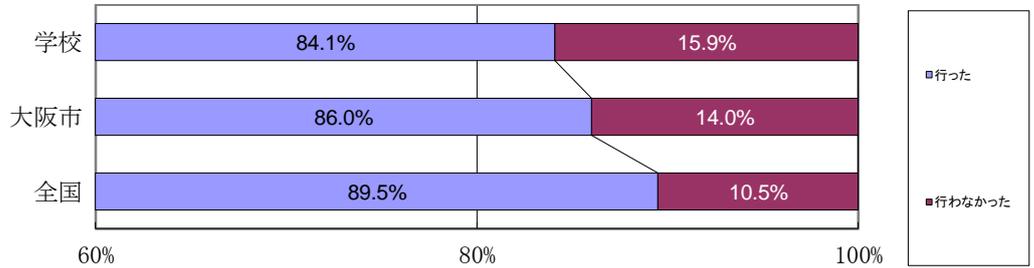
今後の取組

- 保健体育の授業や部活動、様々な体育的行事などを通じて、生徒一人一人が活躍できるよう工夫し、苦手意識の克服を図る。
- 健康的に過ごすためには、運動が大切であることを保健体育の授業などで伝え、運動する習慣を身に付けるよう指導をする。

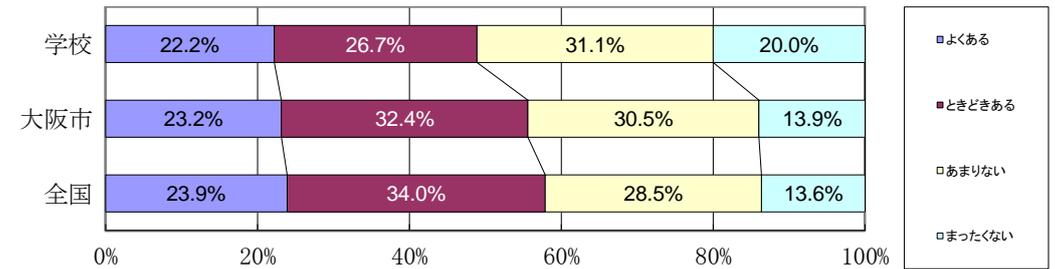
学校の保健体育の授業以外での運動やスポーツについて（男子）

質問番号 質問事項

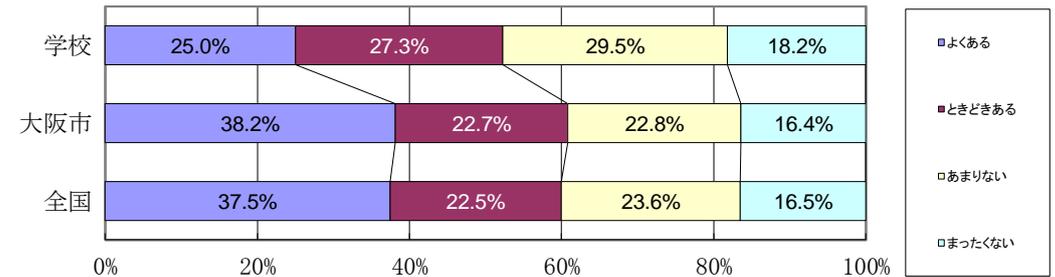
7
 中学校1・2年生のときの春・夏・冬休み、ゴールデンウィークのような学校が長い休みの期間に、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツを行いましたか。



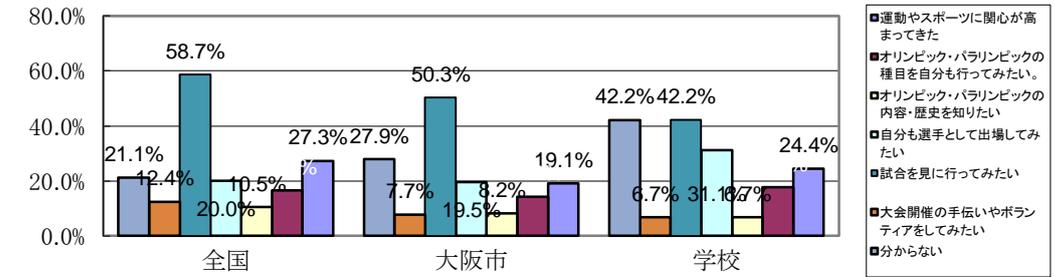
8
 家の人から運動やスポーツを積極的にすすめられることはありますか。



9
 放課後や学校が休みの日に、ボールなどを使って投げつける運動をすることはありますか。



10
 オリンピック・パラリンピックを日本でやることになりましたが、あなたの今の気持ちにあてはまるものをすべて選んでください。



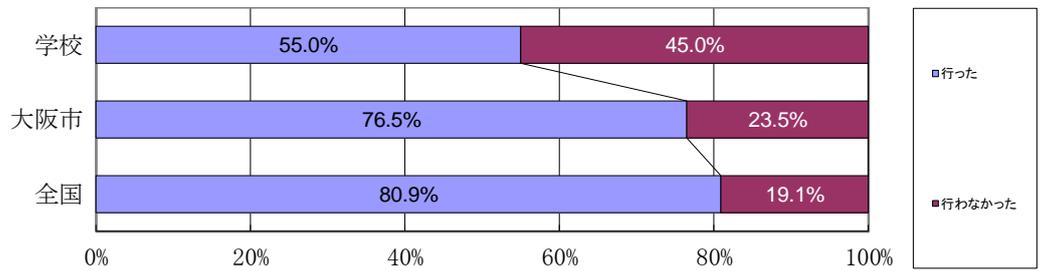
成果と課題
 ・学校が長い休みの時や放課後や学校が休みの日に、スポーツや運動を継続的にする生徒は全国平均より低い、概ね実施できている。

今後の取組
 ・家庭でも行える運動を説明し、実施することを勧める。

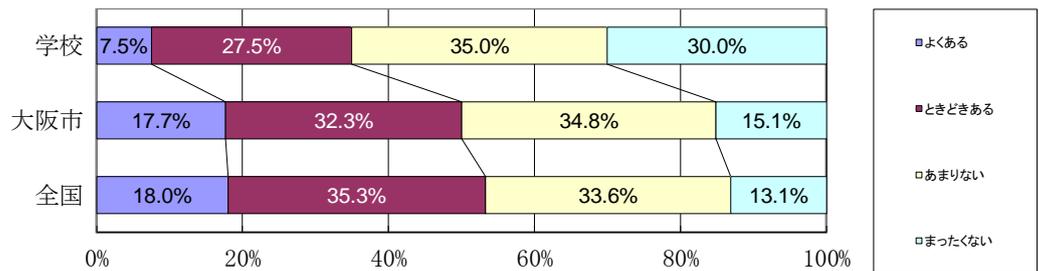
学校の保健体育の授業以外での運動やスポーツについて（女子）

質問番号	質問事項
------	------

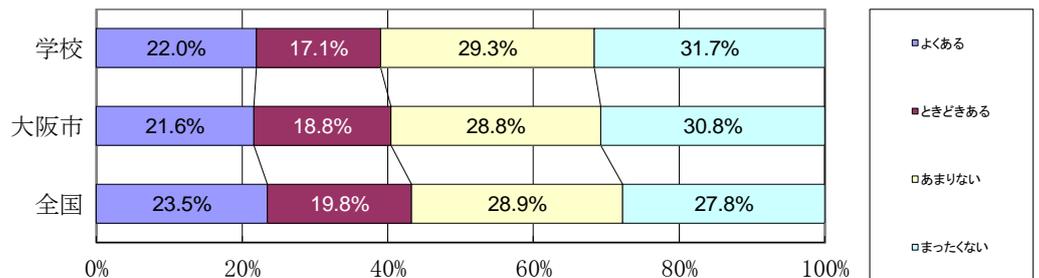
7
 中学校1・2年生のときの春・夏・冬休み、ゴールデンウィークのような学校が長い休みの期間に、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツを行いましたか。



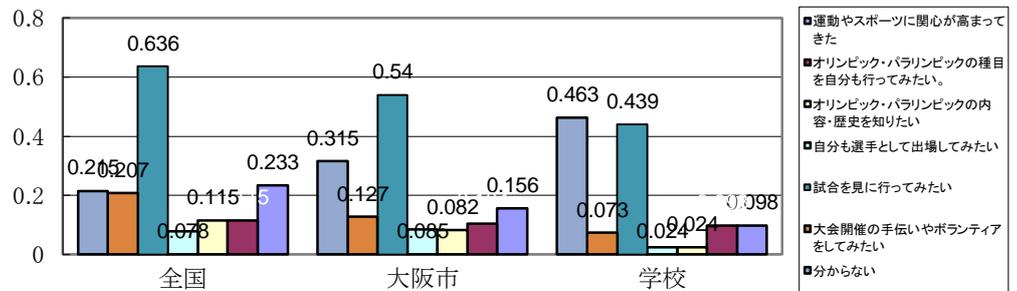
8
 家の人から運動やスポーツを積極的にすすめられることはありますか。



9
 放課後や学校が休みの日に、ボールなどを使って投げる運動をすることはありますか。



10
 オリンピック・パラリンピックを日本でやることになりましたが、あなたの今の気持ちにあてはまるものをすべて選んでください。



成果と課題

- 「学校が長期の休業中に運動やスポーツを行いましたか」に対して、行わなかったが大阪市・全国に比べ20ポイント多い。「放課後や学校が休みの日に、運動をする」質問に対して、よくある(ときどきある)と答えた割合は大阪市・全国と僅かの差であった。
- オリンピックやパラリンピックに対する関心が低い。今後、興味・関心をもたせるよう指導を行う。

今後の取組

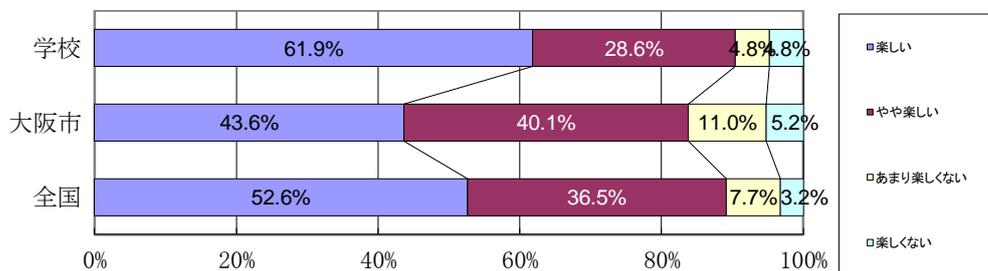
- 長期休業期間中にオリンピックやパラリンピックについて調べてくるよう指導する。
- 家庭にでも簡単にできる運動を紹介し、継続的に取り組めるように指導をかさねる。

保健体育の授業について（男子）

質問番号	質問事項
------	------

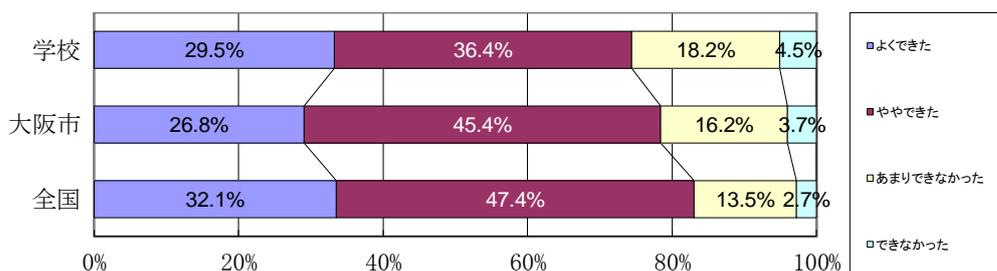
11

保健体育の授業は楽しいですか。



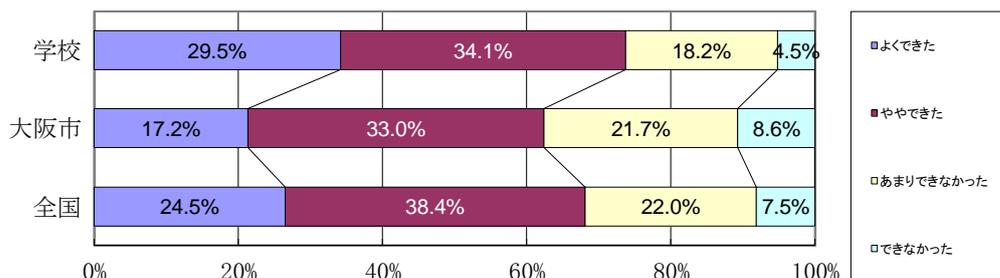
12(1)

体づくり運動
(体ほぐしの運動、体力を高める運動など)
「できたか」



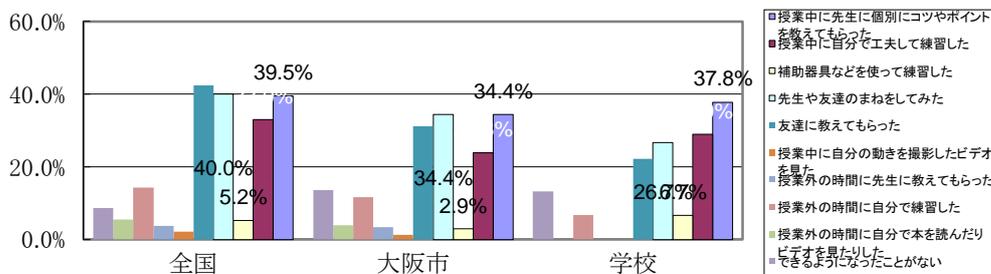
13(1)

器械運動
(マット運動、鉄棒運動、跳び箱運動など)
「できたか」



20

これまでの保健体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか。



成果と課題

- ・「保健体育の授業は楽しい」、楽しい(やや楽しい)が90.5%と大阪市・全国を上回っている。
- ・「体づくり運動」、よくできた29.5%で大阪市を上回ったが僅かに全国を下回った。
- ・「器械運動」、よくできた29.5%大阪市・全国を上回った。ややできたも含めると約64%であった。

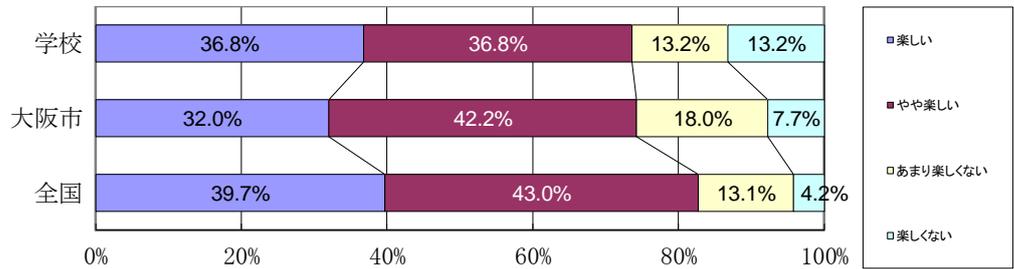
今後の取組

- ・「できないことができるようになったきっかけは」、先生にコツやポイントを教えてもらったり、自分で工夫をして練習した。先生や友だちのマネをしてみたが大阪市や全国を上回る結果ら、運動の苦手な生徒への働きかけをこまめに行うことで減らしていく。

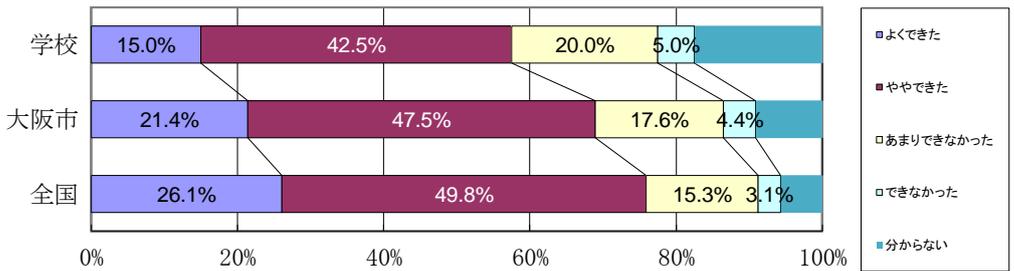
保健体育の授業について（女子）

質問番号 質問事項

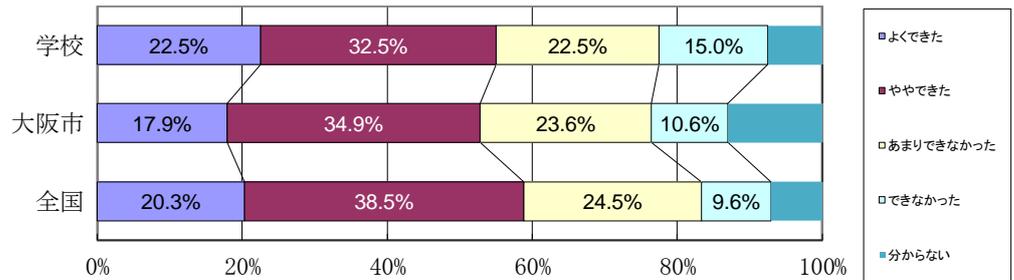
11
保健体育の授業は楽しいですか。



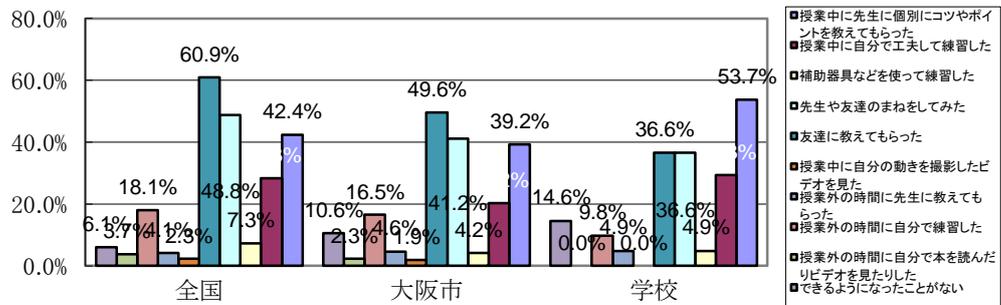
12 (1)
体づくり運動（体ほぐしの運動、体力を高める運動など）「できたか」



13 (1)
器械運動（マット運動、鉄棒運動、跳び箱運動など）「できたか」



20
これまでの保健体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか。



成果と課題

- 「保健体育の授業は楽しい」、楽しい36.8%で大阪市(32.0%)を上回ったが全国(39.7%)には及ばなかった。やや楽しいも含めると僅かに大阪市を下回った。
- 「体づくり運動」、よくできた(ややできた)57.5%で大阪市(68.9%)・全国(74.9%)を下回った。
- 「器械運動」、よくできた22.5%大阪市(17.9%)・全国(20.3%)を上回った。ややできたも含めると55%、全国(58.8%)を下回った。

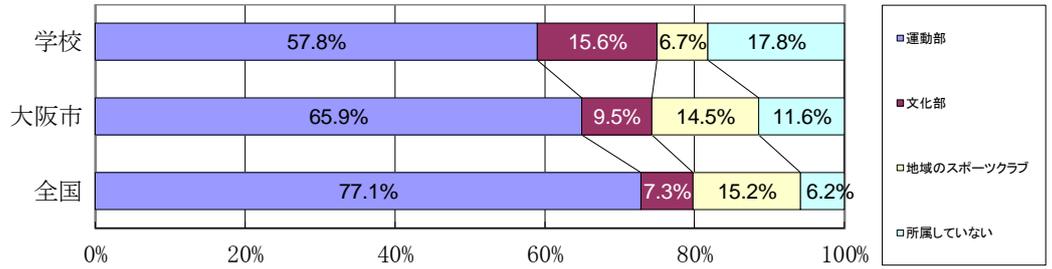
今後の取組

- 「できないことができるようになったきっかけは」、先生にコツやポイントを教えてもらった(53.7%)、自分で工夫をして練習した(29.3%)。大阪市(29.2%, 20.2%)や全国(42.4%, 28.3%)を大きく上回った。これらの結果から、運動の苦手な生徒へこまめにアドバイスを行うことによって苦手意識の克服を図る。
- 体づくり運動のバリエーションを増やし、できる喜びを実感させる。

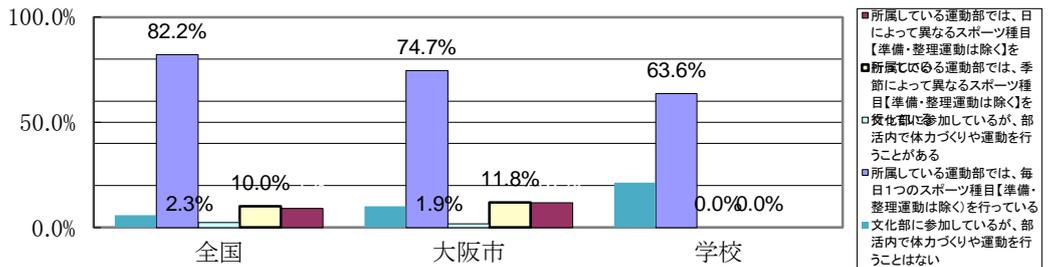
部活動等のことについて（男子）

質問番号 質問事項

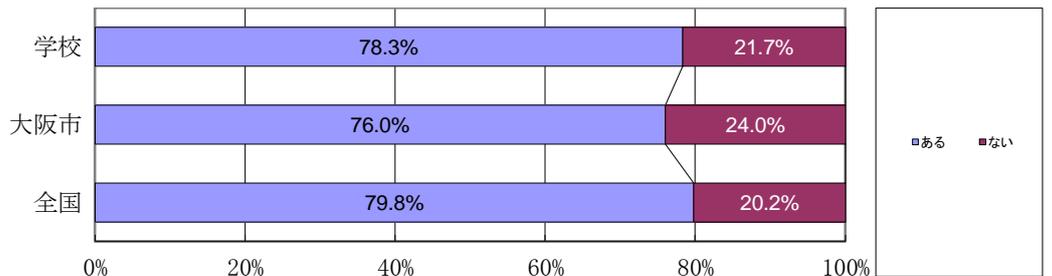
24
学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか。あてはまるものすべてを選んでください。



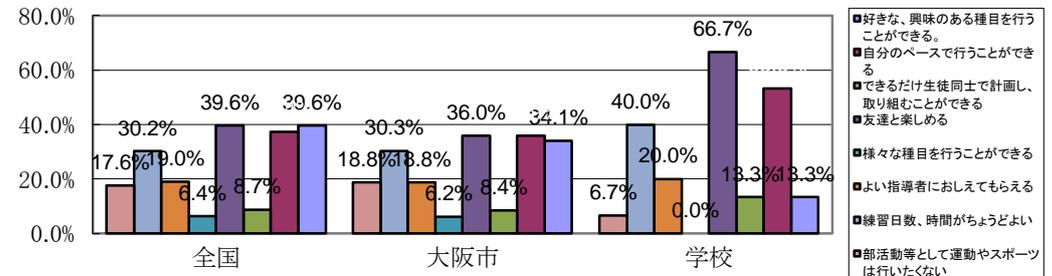
25
質問24で「運動部」「文化部」と答えた人は、活動内容にあてはまるものをすべてを選んでください。



26
質問24で「運動部」と答えた人は、活動のあり方、内容、方法などについて、自分たちで考えたり、意見交換したり、顧問の先生や指導者と話し合ったりする機会がありますか。



27
質問24で「文化部」「所属していない」と答えた人（運動部や地域のスポーツクラブに所属していない）は、どのような条件があれば、運動部に参加したいと思いますか。



成果と課題

- 「部活動やスポーツクラブに所属していますか」、運動部に入っている割合（57.8%）は大阪市（65.9%）・全国（77.1%）を下回ったが、文化部に入っている割合（15.8%）は大阪市（9.5%）・全国（7.3%）を上回っている。地域のスポーツクラブに所属している割合が大阪市・全国の約半数という結果だった。
- 運動部と答えた人は、活動のあり方、内容、方法などについて、自分たちで考えたり、意見交換したり、顧問の先生と話し合ったりする機会があるが大阪市・全国を僅かに上回った。

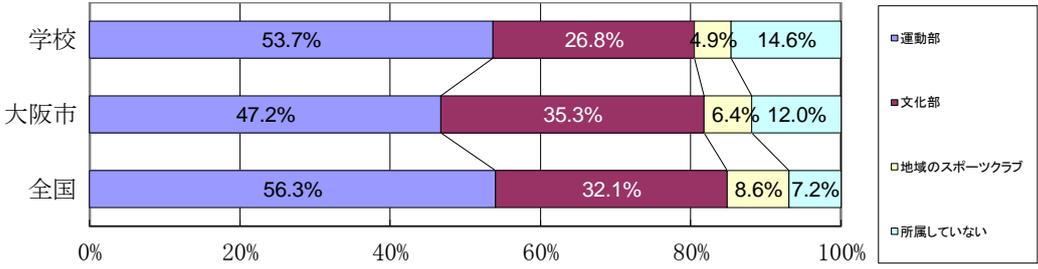
今後の取組

- 地域のスポーツクラブに所属している生徒が少ない現状から、小・中連携の中で部活動の説明会や見学、体験入部といった取り組みを実施し、中学校で入部する生徒を増やしていきたい。

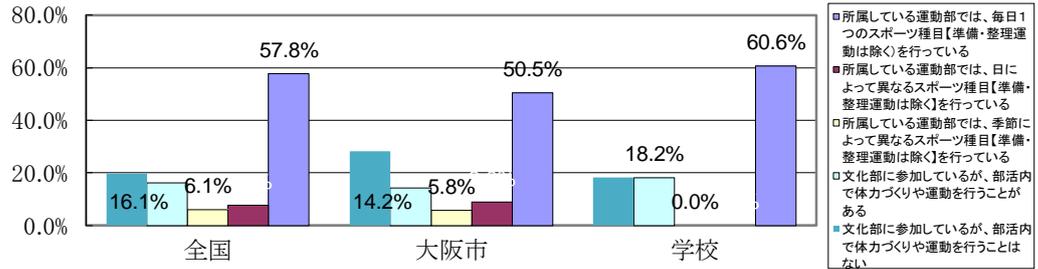
部活動等のことについて (女子)

質問番号 質問事項

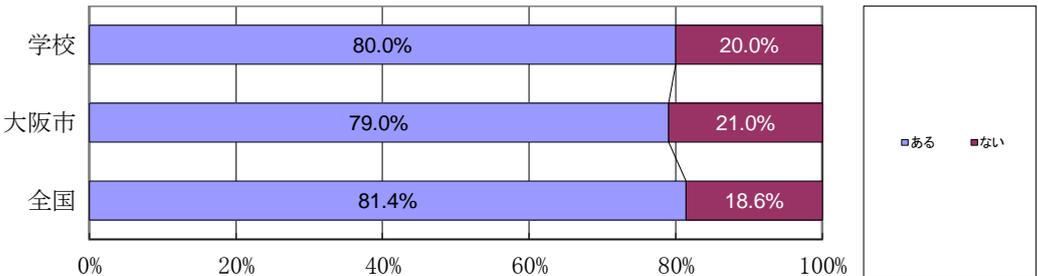
24
学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか。あてはまるものすべてを選んでください。



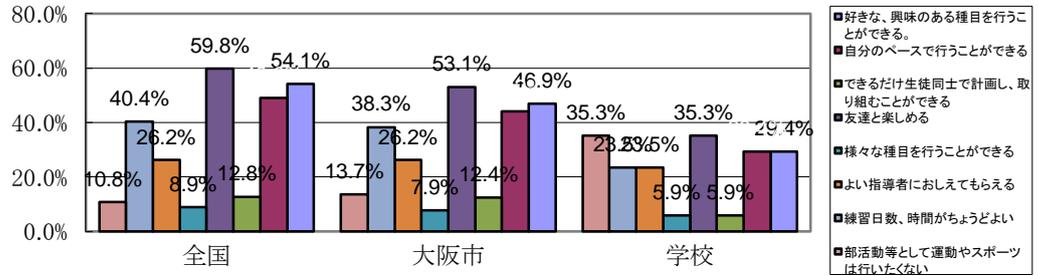
25
質問24で「運動部」「文化部」と答えた人は、活動内容にあてはまるものをすべてを選んでください。



26
質問24で「運動部」と答えた人は、活動のあり方、内容、方法などについて、自分たちで考えたり、意見交換したり、顧問の先生や指導者と話し合ったりする機会がありますか。



27
質問24で「文化部」「所属していない」と答えた人(運動部や地域のスポーツクラブに所属していない)は、どのような条件があれば、運動部に参加したいと思いますか。



成果と課題

- 「部活動やスポーツクラブに所属していますか」、運動部に入っている割合(53.7%)は大阪市(47.2%)・全国(56.3%)で、大阪をわずかに上回ったが全国を僅かに下回った。
- 文化部に入っている割合(26.8%)は大阪市(35.2%)・全国(32.1%)を下回った。
- 運動部と答えた人は、活動のあり方、内容、方法などについて、自分たちで考えたり、意見交換したり、先生と話し合ったりする機会がある(80.0%)が大阪市(79.0%)・全国(81.4%)とほとんど変わらなかった。

今後の取組

- 今の現状を維持し、小・中連携の中で部活動の説明会や見学、体験入部といった取り組みを実施し、中学校で入部する生徒を増やしていきたい。